

AIG は AIG の NY 連銀に対する負債を 250 億ドル削減する 2 つの取引を完了
AIG はアリコと AIA を特別目的会社に移管

ニューヨーク発 2009年12月1日—アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（以下、「AIG」）はニューヨーク連邦準備銀行（以下、「NY 連銀」）との間で、発表済の 2 つの取引が完了したことを発表しました。これらの取引により、NY 連銀は新設された AIG の特定の子会社の優先株式持分を取得し、それと引き換えに、AIG の NY 連銀に対する負債が 250 億ドル削減されました。本日現在において、250 億ドルの負債の削減を反映させた上での、AIG の NY 連銀のクレジット・ファシリティ（融資枠）における借入残高は、利息や手数料を除くと、約 420 億ドルから約 170 億ドルまで減少しました。この取引の結果、融資枠の上限額は 600 億ドルから 350 億ドルに減少しました。

この取引によって、国際的な生命保険事業を展開するアメリカン・インターナショナル・アシュアランス・カンパニー・リミテッド（以下、「AIA」）とアメリカン・ライフ・インシュアランス・カンパニー（以下、「アリコ」）の 2 社を、市場環境を考慮しつつ、通常の監督当局による承認を前提として、新規株式公開(IPO)または第三者への売却に向けて位置づけるという AIG の目標が進展しました。

AIG の CEO であるロバート・ベンモシェ氏は次のようにコメントしています。「私達が NY 連銀に対する負債を 250 億ドル削減したという本日の発表は、“AIG が米国の人々に返済するという約束を果たすために進展を重ねている” という明確なメッセージを納税者に届けることとなります。さらにこの取引によって、AIA とアリコの両社が、将来に渡って、独自性を有した優れた国際的な生命保険事業として位置づけられていくこととなります。」

またベンモシェ氏は、AIG が本第 4 四半期において、今回の AIA とアリコに関する取引完了に伴う NY 連銀の融資枠の上限額の削減に関連して、前払い手数料を費用計上すると言及しました。前払い手数料は、NY 連銀融資枠が設定された 2008 年 9 月 16 日に AIG が当初 NY 連銀から受けた 850 億ドルの融資枠に対して 230 億ドルを原資として設定されたものです。NY 連銀融資枠の設定以降、2009 年 9 月末までに合計で 117 億ドルを償却しましたが、本第 4 四半期においては、今回の取引に関連する一括償却分 52 億ドルを含めて、合計でさらに 57 億ドルの償却を行う予定です。これらの累積的な費用には、定期的な償却分に加え

て、融資枠が当初の 850 億ドルから 350 億ドルに削減されたことも反映されています。ベンモシェ氏はさらに、NY 連銀の融資枠に対する返済が完了した後も、AIG クレジット・ファシリティ・トラストは、シリーズ C 優先株の保有を通して、現時点で約 79.8%の AIG の優先議決権を引き続き保有すると言及しました。

「私達は引き続き事業の安定化と強化に重点を置いていきますが、継続中の事業再編に関連した費用が一因で、今後数四半期の業績は大きく変動する見込みです。その中には、台湾の生命保険会社である南山人壽保險（ナンシャン）の発表済の売却合意に関連して今後の四半期において計上する予定の損失などが、既に公表している通り、含まれます。」とベンモシェ氏はコメントしています。

今回の AIA とアリコの取引においては、それぞれの特別目的会社(SPV)の持分と引き換えに、AIG は双方の SPV に対し AIA とアリコの株式を提供します。これらの取引条件においては、NY 連銀は AIA の SPV の 160 億ドルの優先的分配権を有する優先持分、アリコの SPV の 90 億ドルの優先的分配権を有する優先持分を取得します。

優先持分の優先的分配権は、AIA とアリコの推定適正市場価値の割合を反映したものとなっています。AIG は、AIA とアリコの双方の SPV の全普通株式を保有し、将来的に SPV が AIA とアリコの株式を現金化した際に、適正市場価値が優先持分の価値を上回った際に、その利益を受けることになります。

AIG が、AIA とアリコの普通持分の大部分を分離するまでは、両社はともに引き続き AIG の財務報告における連結対象となります。